



整備機能

大垣の歴史と文化が息づく憩いと賑わいの空間の創出に向け、奥の細道むすびの地周辺に次の機能を整備する。

歴史と文化の場の整備

奥の細道むすびの地記念館の整備

「奥の細道」の旅を大垣で終えた俳聖・松尾芭蕉をはじめ、旧友で大垣俳壇の先駆者・谷木因などの先人の足跡を紹介する。

先賢館の整備

船町はもとより、郷土・大垣市の歴史や文化・芸術を築き上げた先賢の偉業などを広く紹介する。

無何有荘大醒樹の復元

大垣藩藩老・小原鉄心の別荘であった「無何有荘大醒樹」を復元する。

観光・交流産業促進の場の整備

インフォメーション館の整備

西美濃全域フィールドミュージアム化のゲートウェイ機能としてのインフォメーション館を整備する。また、大垣観光案内所を移設し、観光スポットなどの総合案内や各種イベントを実施する。

観光・交流館の整備

お休み処（ラウンジ）、土産物や名産物の販売施設などを整備する。また、市民によるまちづくり活動など、地域固有の活動をサポートする多目的施設を整備する。

イベント広場の整備

自己実現や生きがいを実感できるかがやきライフ活動の拠点として、多くの市民が交流するさまざまなイベントに使用できる広場を整備する。

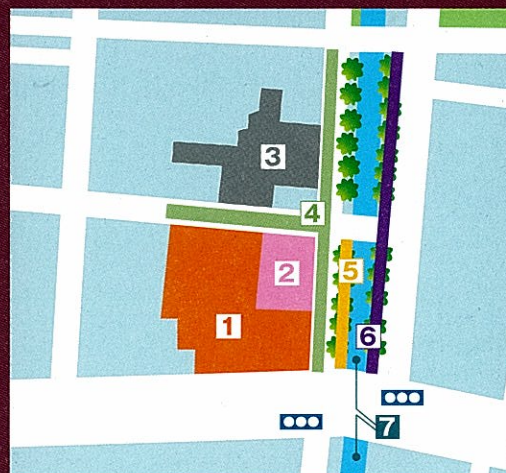
その他周辺整備

奥の細道むすびの地の雰囲気を出す周辺整備を進めるとともに、自家用車や観光バスでの来訪者のための駐車場を整備する。また、地域の歴史・文化を生かした事業を展開する。

- 周辺道路の遊歩道化
- 川湊の風情の修景化（水門川の護岸修景）
- リバーサイドの修景化（水門川左岸、住吉公園の修景）
- 駐車場の整備
- 川舟運行の試み

中・長期的な課題

大垣市総合福祉会館までを将来的な整備区域として、さらなる推進を検討する。



整備機能の配置図

- | | | |
|--------------|-------------|-------|
| 1 施設ゾーン | 2 イベント広場 | 3 駐車場 |
| 4 周辺道路の遊歩道化 | 5 川湊の風情の修景化 | |
| 6 リバーサイドの修景化 | 7 川舟運行の試み | |